

# 有限会社ユーアンド湯との共創インターンシップ活動報告

団体名●神崎ゼミナール2年、3年／代表者名●神崎淳子（経済学部地域システム学科・教授）

## はじめに(背景・目的・目標)

有限会社ユーアンド湯は、石川県内において「pocapoca 御経塚の湯」および「pocapoca 諸江の湯」を運営する一般公衆浴場であり、地域住民の生活を支える存在である。しかしながら、銭湯業界では、利用客数の減少や若者の利用割合の低下、地域コミュニティ機能の希薄化などの課題が指摘されている。また、近隣のスーパー銭湯やスポーツジムとの競争の中で、銭湯独自の価値をどのように維持し、次世代に継承していくかが重要な課題となっている。

2年生は、銭湯の利用者構成や地域特性を踏まえた上で、利用者の維持と新規顧客の獲得に向けた具体的な事業提案を行うことを目標とした。

3年生は、銭湯文化の魅力を情報発信の側面から伝えることにより、銭湯の利用促進と地域文化の継承に寄与することを目標として、新聞制作を中心とした活動を行った。

## 活動内容

2年生は、基礎専門ゼミナールの学生を中心に複数のグループに分かれ、企業から提示された課題に基づいて調査および事業提案を行った。活動では、銭湯周辺の滞留人口や利用者層の分析を行い、特に利用者の約8割が高齢者であるという特徴を踏まえた提案を検討した。

具体的には、

- ・高齢者が安心して利用できる環境整備（滑り止め設置、AED設置、温度管理）
- ・刺青利用者の利用時間の整理による心理的不安の軽減
- ・送迎サービスやアメニティ提供による利便性向上
- ・独居高齢者向けの食事提供サービス（おにぎり・味噌汁等）
- ・若者向けのチラシ配布やSNS活用
- ・フラワーロス風呂や掲示板によるリピーター創出など、多角的な提案を行ったのである。

活動回数は、授業時間内での検討および発表を中心に複数回実施されたものであり、参加者数は基礎専門ゼミナール学生によって構成された。

3年生は、2026年2月までの約8か月間にわたり活動を実施した。

活動では、

- ・企業訪問（7月31日、8月27日、11月12日）
- ・銭湯に関する情報収集
- ・関係者インタビュー（2026年1月8日、1月9日）
- ・記事作成および編集作業
- ・印刷会社との打ち合わせ

を行い、銭湯の魅力を紹介する新聞制作を実施した。

## 成果、結果の考察

2年生は、銭湯利用者の特徴や地域特性を踏まえた具体的な事業提案を行うことにより、企業課題に対して多角的な視点から解決策を提示することができ。特に、高齢者の安全性確保やコミュニティ機能の強化を重視した提案は、既存顧客の維持と地域の居場所としての銭湯の価値を再認識する内容となった。また、若者向けのSNS活用やイベント提案は、新規顧客の獲得に向けた可能性を示した。

3年生は、新聞制作を通じて銭湯の魅力を可視化し、情報発信の側面から銭湯文化の継承に貢献する成果をあげた。特に、銭湯紹介記事や関係者へのインタビュー記事は、銭湯の役割や魅力を多角的に伝える内容となり、完成した新聞は銭湯施設内や大学で配布される予定である。また、活動を通して、学生は地域課題に対して主体的に関わる経験を得ることができ、地域社会との関係構築の重要性を理解することができた。

## 今後の課題、展望

事業の実践と継続的取り組みが課題である。